

令和5年度事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

令和5年度事業報告

(一般社団法人 長野県自動車販売店協会)

【事業総括】

令和5年度、国外では、令和3年2月に開始されたロシアによるウクライナ侵略が長期化し、国連の安保理が機能不全に陥る中、令和5年10月にはハマスによるイスラエル襲撃を契機として、パレスチナにおいてイスラエルとハマス等との戦闘が継続しており、国際市場における穀物や飼料、液化天然ガスやガソリン等の高騰を招いた。また米国では令和6年11月に大統領・連邦議会選挙が実施される予定であり、米国の外交・安全保障政策がより内向きになるのではと懸念されている。

一方国内では、新型コロナウイルスの感染症法上における位置付けが、令和5年5月8日から5類に変更したこともあり、我が国の経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、改善しつつある。

また令和6年度税制改正大綱において、自動車関係諸税については、令和8年である次のエコカー減税の期限到来時まで、中長期的な視点に立って検討される旨が改めて明記された。

自動車産業においては、コロナ禍や半導体不足の影響を受け、長らく続いたメーカーにおける生産調整が改善され、今年度における登録車の新車販売台数は、全国で前年対比7.7%増の2,926,200台と2年連続で前年度を上回った。

なお長野県においても、登録車の新車販売台数が50,348台と前年対比5.1%増という状況になった。

このような情勢の中、協会では新型コロナウイルス感染症対策に配慮しつつ、「地域環境に優しい安心な街づくり」と「快適な交通事故のない安全で明るい街づくり」の推進を基本方針に、関係行政機関をはじめ関連団体等と緊密な連携を図りながら事業活動の推進に取り組んだ。

協会事業の具体的な推進内容・実施結果等については、次頁以下のとおりである。

第1 消費者問題に対する調査支援事業

(1) ユーザーの意見を聴く懇談会の開催

コロナ禍により開催を見送ってきた懇談会を4年ぶりに開催。信州大学、清泉女学院大学、長野県立大学の学生18名を招き、「若者の車離れ」と言われる中、車に対し求めるもの、魅力あるディーラーとは、働きがいのある会社とは何か等、自動車業界の在り方を探る機会となった。学生からは、自由活発な意見や質問が出され、有意義な懇談会となった。また、懇談会内容は資料として編冊し、会員社及び関係機関等へ配布するとともに、協会ホームページに掲載した。

会場	ホテルメトロポリタン長野
開催日	令和5年11月1日(水)
参加者	・信州大学工学部及び大学院 7名 ・長野県立大学 5名 ・清泉女学院大学 8名
その他	<オブザーバー> 信州大学工学部 中山 昇 准教授 <司会進行> SBC信越放送 中澤 佳子 アナウンサー <協会関係者> 19名



懇談会の様子

(2) 自動車所有者1,000人アンケート調査の実施

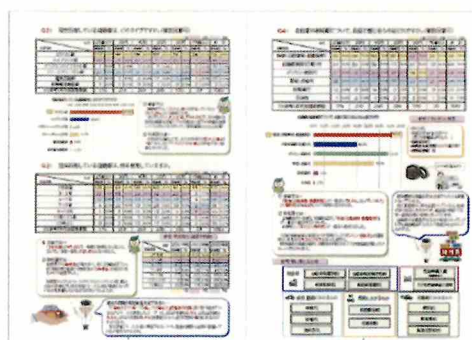
自動車販売、点検整備、次世代自動車、防犯対策、交通安全、環境に関する要望・意見について、令和5年9月から11月の間、県下各販売店に来店したユーザー1,000人を対象にアンケートを実施した。なお、今年度もWEB形式で実施し、調査開始以来初の1,000名を超える合計1,085名から回答を得た。

<結果概要>

回答者数1,085名のうち男性69.4%、女性29.3%、未回答1.3%で、年代別の回答者では、50代の回答者が最も多く26.4%、次いで40代、30代の順に回答者が多かった。

自動車購入等に関する設問では、「自動車のデザイン」を重視する人が62.2%でトップを占め、次いで「燃費」「販売価格」の順となった。年代別では、50代以下が「自動車のデザイン」、60代以上が「安全機能」「メーカー」を重視するという結果となり、年代によって購入時のポイントが分かれる結果となった。

回答状況と分析結果を資料として取り纏め、会員社や関係団体等へ配布するとともに、協会ホームページに掲載した。



回答結果資料

第2 交通安全及び福祉増進並びに教育振興支援事業

(1) 交通弱者を対象とした交通安全教室の開催

交通安全教室の開催は、大切な命を悲惨な交通事故から守り、安全で快適な生活を送るための支援活動の一環として、協会が委嘱した特別交通指導員6名により、保育園、小中学校等からの要望に基づき計画的に実施した。

① 対象別回数・受講者数

計97回開催 10,312名受講 (中止:3回)

対象	開催数	シェア	受講者数	シェア
園児	47回	48.5%	3,193名	31.0%
小学生	18回	18.6%	5,497名	53.3%
中学生	3回	3.0%	616名	6.0%
高齢者	29回	29.9%	1,006名	9.7%
一般	0回	0.0%	0名	0.0%
合計	97回		10,312名	

② 開催地

北信地域	15か所	東信地域	51か所
中信地域	29か所	南信地域	2か所

③ 開催概要

園児には、『楽しみながら命の大切さと事故の恐ろしさを学ぶ』をモットーに、交通ルールやチャイルドシートの必要性などを伝えた。

小中学生には、ダミー人形を使用しての衝突実験や、車の死角や内輪差について身をもって感じることができる体験型安全教室の実施に努めた。

高齢者には、高齢者事故が増加していることから、交通事故の被害者と加害者の両面から見た事故防止について、腹話術や寸劇を通じ、交通ルールを再認識できる内容で実施した。更に、多発する「特殊詐欺（電話でお金詐欺）」に遭わないため、寸劇等を通じ被害予防の意識付けにも努めた。



交通指導員による腹話術



トラックを活用した死角検証実験

(2) 交通事故防止を図るためのセーフティアドバイザーの育成と交通安全啓発活動の推進

① セーフティアドバイザー等研修会の開催（6月）

セーフティアドバイザーの交通安全意識の高揚と活動の活性化を図るため、県内2か所で研修会を開催した。感染対策の一環で密を避けるため、両会場共、午前と午後の2回に分けて開催した。また、本年は、午前と午後の講師を一部入替えて内容の充実を図るとともに、研修内容による選択を可能とした。

会場	中南信会場	東北信会場
開催日	令和5年6月22日（木）	令和5年6月23日（金）
参加者数	午前：37名 午後：38名	午前：50名 午後：40名
講師	長野県警察本部交通部企画課 担当者 ～「交通事故の現状」 長野県交通事故相談所 所長（午前の部のみ） ～「交通事故と損害賠償」 日本自動車連盟長野支部 担当者（午後の部のみ） ～「JAFデータからみた交通安全」	



中南信会場



東北信会場

② 交通安全啓発資料の提供

会員社において、従業員や来店者等に対する交通事故防止に向けた指導・啓発に使用する資料として、県警本部や自販連本部から提供される交通事故統計資料を基に「交通安全ニュース」を作成し、各社総務部長を通じて各拠点のセーフティアドバイザーへ情報提供した。

（３） 全国交通安全運動における交通安全街頭指導活動等の推進

① 交通安全運動への積極的な参加

春・夏・秋・年末の年4回の交通安全運動では、県内13地区流通合理化委員会が主体となり、各街頭指導所にて関係警察署並びに地方事務所交通安全担当者と連携をとりながら交通安全の啓発活動に従事した。

・街頭活動実施回数

出勤人員：延べ30か所386名

春	8か所／118名	夏	9か所／99名
秋	8か所／109名	年末	5か所／60名

・啓発用品の配布（配布可能地区のみ） ガラスコート 1,050個

② マスコミ等を活用した交通安全キャンペーン等の支援

年4回の交通安全運動期間を中心に、啓発活動に努めた。

5月	信濃毎日新聞、日刊自動車新聞	計3件
7月	信濃毎日新聞	計1件
8月	信濃毎日新聞	計1件
9月	信濃毎日新聞、日刊自動車新聞、長野日報	計3件
11月	信濃毎日新聞	計2件
12月	信濃毎日新聞	計2件
～1月	長野朝日放送（テレビCM：10本・駅前ビジョン：50回）	
2月	信濃毎日新聞	計1件

(4) 特別交通指導員研修会の開催

交通安全教室に携わる特別交通指導員及び協会従事者の知識・技術の向上を図るため、各種研修会への積極的な参加に努めた。

① 関東甲信越ブロック交通ボランティア等研修会（※オンライン開催）

主催：内閣府 開催日：令和5年11月22日（水）

参加者数：2名

② 令和5年度交通安全教育指導者研修会（※オンライン開催）

主催：（一財）日本交通安全教育普及協会 開催日：令和6年2月8日（木）

参加者数：1名

(5) 安全運転サポート車（サポカー）体験会の支援

高齢者ドライバーによる交通事故の割合が増加していることを受けて、長野県警やシニアクラブと連携し、会員社の協力により、交通事故防止効果の高い安全運転サポート車の先進安全技術を体感できる「サポカー体験会」を実施した。

<開催状況>

申込件数	48件	参加人数	1,226名
実施	45件	中止	3件

※ 長野県警からの依頼により、北信運転免許センターにおいて、7月から12月にかけて定期的にサポカー体験会を実施。（実施回数17回、参加人数262名）



サポカー体験会の様子

(6) 自動車点検整備の推進

① 高齢者・女性を対象とした交通安全、車両点検教室の開催

長野県自動車整備振興会高水支部と協働して須坂市にて車両点検教室を開催した。サービス部会高水地区委員会の協力のもと、須坂市営駐車場において13時から15時まで実施し、目標の60組が参加した。同会場付近では、他のイベントも開催されており、終始賑わいのある点検教室となった。

② 適正整備事業場運営に資する研修会の開催

令和5年5月に開催された「不正改造車を排除する運動」会議に出席し、令和5年度の取組みについて確認した。また「不正改造車を排除する運動」強化月間にあわせ、6月2日（金）及び9日（金）に不正改造車排除に関する研修会を中南信・東北信の2会場で初めて開催し、中南信会場95名、東北信会場81名のサービス部門従事者が参加した。参加者からは有意義な研修会だったとの高評価を得た。

③ 国土交通省ネガティブ情報を利用した適正整備の推進

国土交通省が行った自動車整備事業者に対する行政処分について、同省が公開するネガティブ情報を利用した周知文書を作成し、適正整備及び法令遵守の再徹底を推進した。

- ④ 長野県自動車整備人材確保・育成連絡会に対する協力
令和6年2月、長野県自動車整備人材確保・育成連絡会に出席し、令和5年度の高
等学校訪問（7校）の結果及び令和6年度の取り組みについて協議、決定をした。
- ⑤ 長野県自動車適正使用・点検整備推進協議会に対する協力
令和5年9月、長野県自動車適正使用・点検整備推進協議会主催の「くるまと人の
ふれあいフェア」が佐久平サンスクエアにて開催され、サービス部会小諸佐久地区
委員会の協力を得て、合計26組に自動車無料点検教室を実施した。

（7） 交通事故ゼロ活動並びに教育振興活動等への支援・協力

- ① 長野県主催の「交通事故ゼロチャレンジ」事業への参加・協力
「2023高校生交通安全CMコンテスト」は、7月から9月に応募のあった11
校57作品（テレビ部門48作品、ラジオ部門9作品）を、収録したDVDにより
審査した。入選作品には表彰を行うとともに、各部門の上位入賞作品はSBC（信越
放送）を通じて交通安全スポットCMとして放映されている。

<グランプリ作品>

テレビ部門	飯田OIDE長姫高校	「ヘルメット実験～スカ ver～」
ラジオ部門	上田染谷丘高校	「想像してみてください」

- ② 公益財団法人日本自動車教育振興財団への支援・協力
長野県自動車教育推進協議会の事務局として、振興財団が行う各高校を対象とし
た自動車技術社会教育を推進する事業活動への支援を行った。今年度は、7月7日、
8月29日に下伊那農業高校において、NTPトヨタ信州(株)、松本日産自動車(株)の
協力により自動車技術研修会を行ったほか、(協)長野県中古自動車リサイクルセン
ターでは県外の5校に対し、教材用エンジンを合計18個提供、(一社)日本自動車
連盟は県内の9校に対し、講師の派遣を行った。
- ③ 長野県高齢ドライバー運転事故防止関連対策懇談会への参加・協力
令和2年に策定された「長野県高齢ドライバー運転事故防止関連対策指針」に基づ
き、安全運転サポート車、安全運転支援装置等の普及促進に向け、会員社の協力によ
りサボカー体験会を継続的に実施した。

第3 環境保全及び防犯活動事業

（1） 地球環境保全活動への参加・支援

地球温暖化防止運動や循環型社会形成に向けて取り組む「信州豊かな環境づくり県民
会議」、「長野県キッズISOプログラム事業」、「一般社団法人長野県環境保全協会」、
「公益財団法人長野県緑の基金」、「信州の屋根ソーラー普及検討会」の活動を支援す
る形で助成活動に取り組んだ。

（2） 安全で環境に優しいクルマの普及を推進する啓発活動

- ① 信州環境フェア2023
令和5年7月29日（土）に開催された信州環境フェア2023は、トークイベン
トを中心とした開催形態だったため、協会は不参加とした。
- ② 南信州環境メッセ2023
令和5年10月28日（金）・29日（土）の2日間、飯田市座光寺のエス・バー
ドを会場として、会員社9社の協力を得て合計13台の次世代自動車を展示し、敷地
内で試乗を行い、環境に配慮した車の仕組みや災害時の非常用電源としての活用等、
来場者に次世代自動車の魅力をアピールした。



南信州環境メッセの様子

- ③ 協会ホームページに、「ASV（先進安全自動車）の種類と特徴」、「エコドライブの実践方法」等を掲載し、安全かつ環境に優しい自動車の普及宣伝に努めた。

（３） 環境問題対策及び環境保全活動の支援

- ① 環境に優しい優良自動車整備事業場表彰は、令和５年１１月７日（火）、ホテルメトロポリタン長野で開催され、会員社３社２５事業場が北陸信越運輸局長表彰、３社３１事業場が長野運輸支局長表彰を受賞した。

- ② 春季・秋季における環境美化活動では、長野県が主唱する信州環境美化運動キャンペーン（地域クリーン作戦）に参加し、地域の環境美化に努めるとともに環境美化活動の輪を広げるための啓蒙活動に取り組んだ。

春季実施 期間：令和５年５月２８日（日）～６月３０日（金）

参加団体 会員：２０社・２９９拠点・３，７６４名

秋季実施 期間：令和５年１０月１日（日）～１０月３１日（火）

参加団体 会員：１５社・３１４拠点・４，０４１名

春季・秋季共に、長野県自動車販売店協会、日本自動車査定協会長野県支所、長野県自動車販売店健康保険組合、日本自動車連盟長野支部、長野県中古自動車リサイクルセンターの職員も参加した。

- ③ 指定自動車整備事業自主監査の実施（１０月）と整備工場等の環境整備対策の支援
第４３回を迎えた指定自動車整備事業場の自主監査事業では、サービス部会委員会を中心に、県内指定工場２５４拠点に対し監査を実施し、その結果を第３特別委員会が取り纏め、サービス部長及びサービス部会地区委員長宛に文書にて報告を行った。

（４） 使用済自動車のリサイクルによる循環型社会形成の実践

- ① 長野県中古自動車リサイクルセンターを軸に、循環型社会の形成を目指し、各会員（組合員）との連携の下、使用済自動車入庫促進に努め、使用済自動車のフロン回収、解体並びに処理部品の再利用化に向けた取り組みを行った。

また、廃棄物の適正処理とリサイクルの有益性について、県民に対する広報・啓発活動として、リサイクルセンターでは施設見学を行っており、令和５年度は、長野県佐久地域 振興局環境課の新人職員研修会をはじめ、南信三菱自動車販売株式会社様、東御市・上田市を中心とした小学校４年生・５年生等、１２組２４３名の見学があり、創業以来１，０１６団体、１１，１６４名の見学者となった。



施設見学の様子

② 地球環境啓発活動の普及促進

環境月間（毎年6月）に合わせて実施する環境美化運動と、地球温暖化防止に係る啓発ポスターの掲示を行い、啓発活動の推進に努めた。

(5) 事業所防犯・暴力追放啓発活動の支援

① 不当要求防止責任者講習会の開催（8月）

会員社において、自動車販売をめぐる反社会勢力からの不当要求行為に適切な対応が図れるよう、各社の不当要求対応責任者に対する講習会を実施した。出席者には「受講修了書」と「不当要求防止責任者の選任事業所」の証明書を交付した。

会場	中南信会場	東北信会場
開催日	令和5年8月3日（木）	令和5年8月4日（金）
参加者数	午前：43名 午後：43名	午前：67名 午後：45名
講師	長野県警察本部刑事部組織犯罪対策課暴力団排除推進室 担当官 長野県弁護士会民事介入暴力対策委員会 所属弁護士2名 (公財)長野県暴力追放県民センター 専務理事	



受講者へ「受講修了書」と「選任済之証」を交付

② 犯罪・暴力のない社会環境づくりに寄与するための支援

地域社会の防犯活動や暴力追放啓発活動に尽力している「公益社団法人長野県防犯協会連合会」、「公益財団法人長野県暴力追放県民センター」に対する助成のほか、会員社における自主防犯活動、暴力追放運動に対する啓発活動に努めた。

③ 長野県自動車盗難等防止対策連絡会への参画

令和5年9月に開催された連絡会に出席し、自動車に関する盗難の発生実態について情報共有し、防犯対策について検討した。

第4 オートオークション事業及び中古車フェア事業

(1) オートオークションの開催

開催回数：11回 開催概要：令和5年4月～令和6年3月

項 目	令和5年度	令和4年度	対前年比
開催回数	11回	9回	122.2%
出品台数(平均)	239台	223台	107.1%
成約台数(平均)	228台	213台	107.0%
成約率(平均)	95.3%	95.7%	-0.4%
売上高(平均)	45,110千円	39,396千円	114.5%
台当単価(平均)	198千円	185千円	107.0%
参加人員(平均)	95人	93人	104.4%
評価点(平均)	2.47点	2.38点	+0.09点

<開催総括>

今年度は令和元年度以来となる全11回を開催した。成約率は毎回90%以上を記録し、前年度同様に高成約率で推移した。実施8年目の「スターコーナー」では、

今年度の出品台数は113台、成約台数は91台、成約率が80.5%、総売上高が68,215千円となった。

① オートオークション事業を運営する会議の開催

＜運営委員会の開催＞

オークション開催日に合わせ、正副運営委員長、正副実行委員長、進行部責任者と開催詳細や懸案事項、中古車部会事業に係わる事項等について討議した。

＜運営会議の開催＞

オークション終了後、進行部、会計部、事務局担当者が出席し、主に運営面に関する反省点や諸課題について意見交換を行った。

＜中古車部会並びにオートオークション実行委員会合同会議の開催＞

令和5年12月14日(金)にホテルメトロポリタン長野で開催し、中古車フェア事業計画、令和6年度オートオークション開催計画等について検討した。

② コンダクター等研修会の実施

コンダクター等の技術及びオークションの運営能力向上と成果向上に繋げる為、令和6年1月14日(日)・15日(月)に日産大阪オートオークション(NOAA)を視察し、オークションの運営方法やセリの進行技術等を研修した。



出品車両とセリの様子 (NDAA)



コンダクター等研修会の様子 (NOAA)

③ オートオークションシステムの構築

NDAA 業務において、出品・落札・請求・統計等で使用するデータを一元管理し、円滑に業務を進めていくため、NDAA 業務のシステム構築とWEB化を進め、業務改善を行った。

令和5年度では、現行の複写式出品票を廃止する為、タブレット端末を利用した出品車両の検査情報入力システムや落札時の電子署名、会場内で投影する出品車両状態図のシステム化を図った。(※令和6年春頃に運用開始予定。)

(2) 中古車フェア等のイベント開催

ユーザーに対し、保証・メンテナンスが充実したディーラー認定中古車を提供し、購入後の総合満足度を高め、自動車ディーラーと大型専門店との違いを鮮明にするため、「信州カーディーラー中古車フェア」を開催した。開催方法はビッグハットでの会場型と、県下全域店舗での店舗型のハイブリッド開催とした。

開催日：令和5年7月1日(土)・2日(日) 2日間

会場開催：長野市若里多目的スポーツアリーナ「ビッグハット」

参加社数：10社 展示台数：150台 成約台数：63台

店舗開催：県下全域店舗

参加社数：17社・94店舗 総展示台数：2,000台 成約台数：157台



会場開催の様子



店舗開催の様子